



# かぜくも

いわき支援学校  
地域支援センター通信 No. 10  
H29. 7. 6発行

## ～チームで「心をつなぐ」地域支援センターを目指して～



今年度の4月に新校名となり「いわき支援学校」となりました。これを機に改めて支援学校として果たすべきセンター的機能といわき地区における更なる特別支援教育の充実を目指し、チームで一丸となって取り組んで参ります。当センターの活動に御理解と御協力をお願い申し上げます。

さて、当センターは、いわき市内に在住している心身に障がいのあるお子さんの生活上の心配や不安、就学、学習等に関する相談（かぜくも相談）、障がいのある就学前のお子さんの活動広場（かぜくもひろば）、お子さんの養育に関する研修（かぜくも教室）の早期教育事業を実施しています。他にも要請による出かける支援や学校支援等も行い、年々当センターを活用する方が増え、地域からの信頼と期待が高まってきているところであります。引き続き当センターとしましては、共生社会（インクルーシブ教育）の基本方向を踏まえ、また昨年度から施行されました障害者差別解消法の趣旨と合理的配慮の観点も踏まえ、心身に障がいのあるお子さんの今と将来を見据えた相談、支援を行ってまいります。お子さんの養育や教育、学習等について心配されている方は、気軽に電話をくださいますようお願いしております。

結びに、障がいのあるなしにかかわらず、地域で成長し生活していくためには、そこに住んでいる人同士が、共に育ち合える地域社会の形成が必要です。その一助となるよう人と人の「心をつなぐ」取り組みを目指していきます。

いわき支援学校長 齋藤秀美



就学前のお子さんの遊びの場

## かぜくもひろば



6月21日（水）に第一回のかぜくもひろばを開催しました。就学前のお子さんと保護者の方8組16名が参加しました。今回参加していただいたお子さんは、2名が昨年からの継続の方で、6名は初めて参加となるお子さんでした。「お集まり会」では、「タンバリンでこんにちは」の歌に合わせて名前を呼ぶと、元気にタンバリンをたたいたり、笑顔を見せたりと上手にお返事ができました。「パネルシアター～ねこのお医者さん～」では、次は誰がでてくるのか、わくわくした表情で注目したり、「ニャー」の掛け声やポーズを真似したりと歌遊びを楽しむ様子が見られました。参加してくださった保護者の方からは、「親子で楽しみ、同世代のお友達とのかかわり方も見ることができ、新しい発見ができました。」「子どもと遊ぶ時間をもっと増やしていきたいと思いました。」「子どもの成長が見られて良かったです。」などの感想をいただきました。保護者のみなさまには、お子さんが活動する様子を見ていただき、こんなことに興味があるんだ、こんなことが分かるんだ、こんな動きや表情をするんだなど、新たな発見をしていただけたらと思います。また、お子さんとかかわりや成長のことなど、気になることや悩んでいることを担当スタッフや他の保護者の方と話ができるそんな「かぜくもひろば」になればと考えております。



# 就学前の保護者さんの学校見学会

5月24日に学校見学会が行われ、就学前のお子さん（年長児対象）の保護者さんと療育機関のスタッフ、保育園保母さん、地区センターの方など43名の方が来校されました。教務主任による本校の概要説明に続いて、地域支援センター主任から「地域支援センターかぜくも」と「就学までの流れ」についての説明が行われ、その後3つのグループに分かれて小学部の生活単元学習や中学部・高等部の作業学習の様子を見学していただきました。



発達キーワードにもなる「ことば」。

今回は、「ことば」について一緒に考えてみましょう。

「ことば」には三つの意味があります。

- ①声に出すことば      Speech（音声言語）
- ②分かることば      Language（考えること）
- ③コミュニケーション      Communication（伝えたいと思う気持ち）



（中川信子著 「発達障害とことばの相談」引用）

子どもが「ことば」を言えるようになるためには、分かることをたくさん増やしてあげるかかわりが大切になります。

例えばオレンジジュースを飲むときに、保護者（先生）が「オレンジジュース飲もうね」とか「こぼさないようにそっとね」「コップ、気をつけてよ」と子どもに声をかけることで、子どもは「ジュース」「コップ」「飲む」などを耳で聞き、「ことば」として覚え、分かることばが増えてゆきます。毎日の生活で、いろいろな体験をするときに、ていねいに「ことば」を添えることが言える「ことば」を増やすことにつながります。

また、保護者と子ども、先生と子どもとの関係の中で子どもがお母さんお父さんに伝えたいとか先生に伝えたいとかいう気持ちを育てることもとても大切になります。

どんなに忙しくても、子どもが話しかけてきたり行動を起こしたりしたときには、保護者（先生）は子どもをきちんと受け止めてあげたいですね。

本校教頭 香取

## 幼・保・小・中・高校の先生方へ

### <研究会セミナーIのご案内>

本校会場で7月28日（金）に「いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーI」が開催され、本校の地域支援センターかぜくもでは「諸検査の読み取りと活用」「児童生徒の行動理解の視点」の内容で分科会を行います。午後は「特別支援学校におけるセンター的機能の役割について～高等学校における通級指導の取り組みを通して～」の内容で講演会を行います。いわき市内の特別支援学校の職員による「教育相談会」も合わせて行いますので、お子さんの相談等でご活用ください。来校をお待ちしています。

### <ミニセミナーのご案内>

小・中・高等学校の先生方への研修支援として、下記の日程で本校を会場に、ミニセミナーを行います。時間は16:00～16:45です。特別支援教育に関心のある方の参加をお待ちしています。

7月21日（金）「小学校段階から卒業後を見据えた就労支援」

8月28日（月）「作品展に向けた教材紹介と作成」

11月24日（金）「特別支援教育の動向」

1月26日（金）「本校における交流及び共同学習」

お問い合わせ（☎34-3806）





# かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 11

H29. 12. 7 発行

## 未就学児童の保護者さんの かぜくも教室

今年度のかぜくも教室は、2回にわたり「ペアレントトレーニング」の内容を行いました。講師は本校の上遠野真理教諭で、未就学のお子さんがある保護者さんが参加してくださいました。

初回の教室では、「子育てをされていて、イライラしたり怒りが爆発しそうになったりすることがありますか？そんな時はどうしていますか？」という問いかけからスタートし、「6秒ルール」を理解し、子どもをほめることの大切さやほめ方について、また、参加者同士で発表し、意見を交換しました。



2回目の教室では、行動の仕組みや効果的なほめ方などについてのお話を聞き、二人一組になって声かけ変換表（行動を良いほうに捉える）を使いロールプレイをしました。2つの回を通して保護者さんたちからは、「子どもにも自分にも前向きになれそうです。」「子どもへの対応が変わりました。少しですが心にゆとりができたように思います。」などの感想をいただきました。

かぜくも教室は、未就学児をお持ちの保護者さん対象の勉強会（10：00～11：30）です。次回は12/15（金）「先輩お母さんの話を聞こう」を開催予定です。参加を希望される方は、地域支援センターかぜくも（☎34-3806）までご連絡ください。

## ～出かける支援～

本校では、特別支援学校の専門性を地域の学校に活用し「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するために、各学校からの相談に応じています。出かける支援では、授業や遊びの様子を参観させていただき、担任の先生やコーディネーターの先生と共に、お子さんの支援について一緒に考える取り組みをしています。

### ● 今年度の相談内容 ●

- ・対人関係と集団活動への参加が難しい幼児への支援。（幼稚園）
- ・発音が不明瞭な児童への支援。（小学校）
- ・学習の遅れと生徒の行動理解、個別の支援計画と個別の指導計画の作成について。（中学校）
- ・教科指導と学級経営について。（小学校）
- ・心配なお子さんが多いクラスの学級経営。（幼稚園）
- ・特別支援学級児童の学習支援について。（小学校）
- ・障がいの理解と支援について。（中学校）
- ・児童の行動理解と対応について。（小学校）

## 特別支援教育についての ミニセミナー

ミニセミナーは市内の幼・保・小・中・高の先生方を対象とした、特別支援教育にかかわる勉強会です。今年度は3回開催し、1回目は「小学校段階から卒業後を見据えた就労支援」をテーマに本校の進路指導部・部長 吉田 淳子教諭が話をしました。本校の進路指導をもとに、高等部の現場実習から見てきたことや小学校・中学校段階で身に付けておくことよきことを具体的な事例を挙げての説明でした。生活習慣、話を聞く、あいさつや返事など「生活する力を伸ばすことが働くことにつながる」ことを改めて感じるセミナーでした。



2回目は「作品展に向けた教材紹介と作成」というテーマで、本校の村澤梨沙教諭が墨染めの実技講習を行いました。市内の小学校や保育園の先生方、事業所の方に参加していただき、染料や墨を使い実際に各自で好きな模様を描きました。参加された先生方からは、「今度の授業参観で、この技法を使って授業を考えてみたい」という声が聞かれました。



き、染料や墨を使い実際に各自で好きな模様を描きました。参加された先生方からは、「今度の授業参観で、この技法を使って授業を考えてみたい」という声が聞かれました。

## 学校へ行こう週間

11月14日・15日・16日の3日間、学校へ行こう週間（学校公開）が行われ、多くの方々が来校してくださいました。地域支援センターでは、「かぜくもひろば」「かぜくも教室」「かぜくも相談室」など、早期からの支援についてお話しさせていただきました。教育相談では、就学前のお子さんや小学校のお子さんを持つ保護者の方からの相談、また、小学校の先生からの相談に応じました。校内見学では、小学部では生活単元学習、中学部では作業学習、高等部では校内実習の様子を参観していただきました。





